

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-350464  
 (43)Date of publication of application : 21.12.2001

(51)Int.Cl. G09G 5/24  
 B41J 5/44  
 G06F 3/12  
 G06F 13/00  
 G06F 17/21

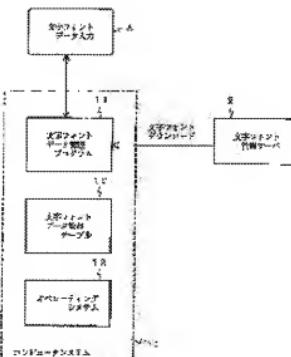
(21)Application number : 2000-169924 (71)Applicant : NEC CORP  
 (22)Date of filing : 07.06.2000 (72)Inventor : HASEGAWA AKIRA

**(54) CHARACTER FONT REGISTERING SYSTEM AND CHARACTER FONT REGISTERING METHOD USING THE SAME**

**(57)Abstract:**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a character font registration system which makes it possible to use a character font other than those pre-installed in own system without generating manual installation operation, and permits to reduce resources for storing the character font.

**SOLUTION:** In the case of using an unregistered character font and a foreign character font other than those preinstalled as standards in an operating system 13 of a computer system 1 at the time of character font data input A, a character font control table 12 of the system is referred to. Based on this reference result, a character font data manager 11 downloads the desired character font via a network from a character font control server 2 in which the character font is registered, and performs input of the character font.





(19)日本国特許庁 (JP)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-350464

(P2001-350464A)

(43)公開日 平成13年12月21日 (2001.12.21)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F 1	テ-コ-1 <sup>8</sup> (参考)
G 0 9 G 5/24	6 9 0	G 0 9 G 5/24	6 9 0 2 C 0 8 7
B 4 1 J 5/44		B 4 1 J 5/44	5 B 0 0 9
G 0 6 F 3/12		G 0 6 F 3/12	G 5 B 0 2 1
13/00	5 5 0	13/00	5 5 0 F 5 C 0 8 2
17/21	5 6 2	17/21	5 6 2 P

審査請求 未請求 請求項の数14 O.L. (全 12 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号 特願2000-169924(P2000-169924)

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(22)出願日 平成12年6月7日 (2000.6.7)

(72)発明者 長谷川 昭

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

(74)代理人 10008812

弁理士 ▲柳川 信

Fターム(参考) 20087 A005 B009 B043 E027

5B009 RA14 YA02 YA09 YC01

5B021 AA01 B001 DD10 JJ02

5C082 AA01 AA32 AA36 AA37 BA02

BB01 BB32 BB53 CB01 DA32

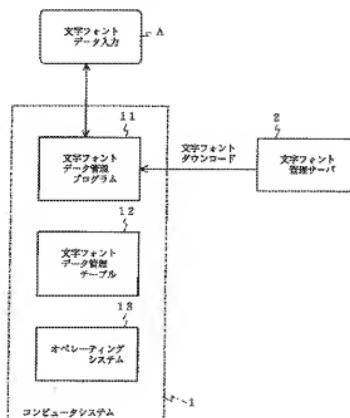
DA73 DA87 MM04 MM05 MM09

(54)【発明の名称】 文字フォント登録システム及びそれに用いる文字フォント登録方法

## (57)【要約】

【課題】 手作業でのインストール作業を発生させるこ  
となく、自システム内に予めインストール済みの文字フ  
ォント以外の文字フォントを使用可能とし、文字フォン  
トを格納するための資源経温が可能な文字フォント登録  
システムを提供する。

【解決手段】 文字フォントデータ入力Aの時点で、コ  
ンピュータシステム1のオペレーティングシステム1.3  
に標準でインストールされている文字フォント以外の未  
登録文字フォントや外國語文字フォントを利用する場  
合、システムの文字フォントデータ管理テーブル1.2を  
参照する。この参照結果を基に、文字フォントデータ管  
理プログラム1.1はその使用したい文字フォントが登録  
されている文字フォント管理サーバ2からその文字フォ  
ントをネットワーク経由でダウンロードし、文字フォン  
トの入力を行う。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 少なくともモニタやプリンタにて使用する文字フォントを自システム内に蓄積する文字フォント登録システムであって、前記文字フォントが自システム内にない時に当該文字フォントが登録されている文字フォント管理サーバから当該文字フォントをネットワーク経由でダウンロードする手段を有することを特徴とする文字フォント登録システム。

【請求項2】 前記ネットワークは、少なくともインターネットを含むことを特徴とする請求項1記載の文字フォント登録システム。

【請求項3】 前記文字フォント管理サーバは、前記ネットワーク経由で配布する文字フォントを管理するよう構成したことを特徴とする請求項1または請求項2記載の文字フォント登録システム。

【請求項4】 前記文字フォントを管理する複数の文字フォント管理サーバのうちのいずれかからダウンロードするようにしたことを特徴とする請求項3記載の文字フォント登録システム。

【請求項5】 前記複数の文字フォント管理サーバ間で前記文字フォントの検索リクエスト通信を行うよう構成したことを特徴とする請求項4記載の文字フォント登録システム。

【請求項6】 前記複数の文字フォント管理サーバ各々は、前記文字フォントを分散して管理するよう構成したことを特徴とする請求項4または請求項5記載の文字フォント登録システム。

【請求項7】 前記文字フォントと当該文字フォントがどの文字フォント管理サーバからダウンロードしたのかを示す情報をと記録する文字フォントキャッシュを含むことを特徴とする請求項1から請求項5のいずれか記載の文字フォント登録システム。

【請求項8】 少なくともモニタやプリンタにて使用する文字フォントを自システム内に蓄積する文字フォント登録方法であって、前記文字フォントが自システム内にない時に当該文字フォントが登録されている文字フォント管理サーバから当該文字フォントをネットワーク経由でダウンロードするステップを有することを特徴とする文字フォント登録方法。

【請求項9】 前記ネットワークは、少なくともインターネットを含むことを特徴とする請求項8記載の文字フォント登録方法。

【請求項10】 前記文字フォント管理サーバは、前記ネットワーク経由で配布する文字フォントを管理するようにしたことを特徴とする請求項8または請求項9記載の文字フォント登録方法。

【請求項11】 前記文字フォントを管理する複数の文字フォント管理サーバのうちのいずれかからダウンロードするようにしたことを特徴とする請求項10記載の文字フォント登録方法。

【請求項12】 前記複数の文字フォント管理サーバ間で前記文字フォントの検索リクエスト通信を行うようにしたことを特徴とする請求項11記載の文字フォント登録方法。

【請求項13】 前記複数の文字フォント管理サーバ各々は、前記文字フォントを分散して管理するようにしたことを特徴とする請求項11または請求項12記載の文字フォント登録方法。

【請求項14】 前記文字フォントと当該文字フォントがどの文字フォント管理サーバからダウンロードしたのかを示す情報をと文字フォントキャッシュに記録するようしたことを特徴とする請求項8から請求項13のいずれか記載の文字フォント登録方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は文字フォント登録システム及びそれに用いる文字フォント登録方法に關し、特にモニタやプリンタにて使用する文字フォントの登録に關する。

## 【0002】

【従来の技術】 従来、コンピュータシステムにおいては、文字フォントを用いてモニタへの表示を行ふ際に、予め自システム内にインストールされた文字フォントグループの中から選択した文字フォントのデータを用い、その文字フォントイメージをモニタ画面上に表示するようしている。また、プリンタへの出力時にも、上記と同様に、文字フォントを選択して出力している。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、従来のコンピュータシステムでは、入出力する文字フォントが自システム内にない場合、その都度、手作業でその文字フォントをインストールしなければならず。手作業でのインストール作業を発生させることなく、自システム内に予めインストール済みの文字フォント以外の文字フォントを使用することができないという問題がある。

【0004】 また、既に上記の文字フォントをコンピュータシステムに最初から組み込んでおき、追加インストールの手間を避けることも考えられるが、いつ、どのような文字フォントが必要になるかが予想もできないため、多種類の文字フォントを用意し、インストールしておく必要がある。よって、これは最初からにコンピュータシステムのハードウェア資源を多く要求することになるので、コンピュータシステムに文字フォントを格納するための資源の問題が発生する。

【0005】 そこで、本発明の目的は上記の問題点を解消し、手作業でのインストール作業を発生させることなく、自システム内に予めインストール済みの文字フォント以外の文字フォントを使用することができ、文字フォントを格納するための資源を絶減することができる文字フォント登録システム及びそれに用いる文字フォント登

録方法を提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明による文字フォント登録システムは、少なくともモニタやプリンタにて使用する文字フォントを自システム内に蓄積する文字フォント登録システムであって、前記文字フォントが自システム内にない時に当該文字フォントが登録されている文字フォント管理サーバから当該文字フォントをネットワーク経由でダウンロードする手段を備えている。

【0007】本発明による文字フォント登録方法は、少なくともモニタやプリンタにて使用する文字フォントを自システム内に蓄積する文字フォント登録方法であって、前記文字フォントが自システム内にない時に当該文字フォントが登録されている文字フォント管理サーバから当該文字フォントをネットワーク経由でダウンロードする手段を備えている。

【0008】すなわち、本発明の文字フォント登録システムは、コンピュータシステムやプリンタでの文字入出力システムにおいて、文字フォント管理を行なうサーバからネットワーク経由でのダウンロード方式によって様々

な文字フォントの入出力を可能としている。

【0009】より具体的に、本発明の文字フォント登録システムでは、文字フォントの入力時点でコンピュータシステムのオペレーティングシステムに標準でインストールされている文字フォント以外の未登録文字フォントや外國語文字フォントを利用する場合、システムの文字

フォントデータ管理テーブルを参照し、その使用したい文字フォントが登録されている文字フォント管理サーバからその文字フォントをネットワーク経由（例えば、インターネット等）でダウンロードし、文字フォントの入力を行う。

【0010】また、本発明の文字フォント登録システムでは、コンピュータシステムにおいて元のオペレーティングシステムに標準でインストールされている文字フォント以外のものが含まれているファイルをモニタ画面やプリンタへ出力する際に、目的の文字フォントをコンピュータシステムの文字フォントデータ管理テーブルからの文字フォントを利用して文字出力をを行うことを可能としている。

【0011】これによって、コンピュータシステムに未登録の文字フォントを利用する時でも、文字フォントデータ管理サーバの文字フォントが共通に利用可能となるため、その都度、コンピュータシステムで個別にインストールしたり、外字フォントを作成する作業が不要となる。

【0012】また、ネットワーク経由で文字フォントサーバから文字フォントをダウンロードして自らのコンピュータシステムにセットアップすることになる。つまり、これはネットワークに接続して文字フォントサーバへのアクセスが可能な環境が整っているコンピュータシ

ステムであれば、どこにいても新規文字フォントを利用することが可能となる。

【0013】さらに、利用時に文字フォントを最初から自らのコンピュータシステムに保有しておく必要がなく、フォントを利用する時にダウンロードして登録すればよいため、それらを格納するために必要なメモリやハードディスクドライブ等のコンピュータシステムで必要なハードウェア資源を軽減することが可能となる。

【0014】

【発明の実施の形態】次に、本発明の実施例について図面を参照して説明する。図1及び図2は本発明の概念を説明するための図である。これら図1及び図2を用いて本発明の概念について説明する。

【0015】文字フォントデータの入力（図1のA）の時点で、コンピュータシステム1のオペレーティングシステム1-3に標準でインストールされている文字フォント以外の未登録文字フォントや外國語文字フォントを利用する場合、システムの文字フォントデータ管理テーブル1-2を参照する。

【0016】この参照結果を基に、文字フォントデータ管理プログラム1-1はその使用したい文字フォント（文字フォントデータ入力Aで指定された文字フォント）が登録されている文字フォント管理サーバ2からその文字フォントをネットワーク経由（例えば、インターネット等）でダウンロードし、文字フォントの入力を行う（図1参照）。

【0017】また、コンピュータシステム1において元のオペレーティングシステム1-3に標準でインストールされている文字フォント以外のものが含まれているファイル1-4を図示せぬモニタ画面やプリンタへ出力する時、目的の文字フォントをコンピュータシステム1の文字フォントデータ管理テーブル1-2から構成される。

【0018】図3は本発明の一実施例による文字フォント登録システムの構成を示すブロック図である。図3において、本発明の一実施例による文字フォント登録システムはコンピュータシステム3と文字フォント管理サーバ2とから構成され、コンピュータシステム3にはデータ入力装置4と、プリンタ5と、モニタ6とが接続されている。

【0019】また、コンピュータシステム3は文字フォント通信コントロール手段3-1と、文字フォント入力コントロール手段3-2と、文字フォント出力コントロール手段3-3と、文字フォントデータキャッシングプログラム3-4と、アプリケーションソフトウェア3-7とから構成され、文字フォントデータキャッシングプログラム3-4は文字フォントデータテーブル3-5と文字フォントデータ3-6とを備えている。

【0020】データ入力装置4は図示せぬキーボード及びポインティングデバイス（マウス等）であり、文字デ

ータのコードをコンピュータシステム3へ送信する。アプリケーションソフトウェア3 7からは文字入力が行われる際に、どういう文字フォントを選択して使用するのかが文字フォントデータキャッsingプログラム3 4に対して要求される。

【0021】文字フォントデータキャッsingプログラム3 4は文字フォントデータテーブル3 5を参照し、その要求された文字フォントがどこに存在するのかを検索する。すなわち、文字フォントデータキャッsingプログラム3 4は文字フォントデータ3 6にキャッsingされているのか、もしくは文字フォント管理サーバ2に置かれているのかをさずする。

【0022】要求された文字フォントが文字フォント管理サーバ2に置かれている場合、文字フォントデータキャッsingプログラム3 4は文字フォント通信コントロール手段3 1を利用して文字フォント管理サーバ2から目的の文字フォントデータをダウンロードし、その文字フォントデータをキャッsingデータである文字フォントデータ3 6へ記録して保存する。

【0023】その後、文字フォントデータキャッsingプログラム3 4はその新しい文字フォントデータを上位のアプリケーションソフトウェア3 7自身への出力。もしくは画面出力用のモニタ6への表示やプリンタ5への出力を行つたために、その新しい文字フォントデータを文字フォント出力コントロール手段3 3に送信する。

【0024】図4は本発明の一実施例による文字フォント登録システムの動作を示すフローチャートである。これら図3及び図4を参照して本発明の一実施例の全體動作について説明する。

【0025】まず、アプリケーションソフトウェア3 7から文字入力が行われると(図4ステップS 1)、文字フォントデータキャッsingプログラム3 4は人力要求のあった文字フォントが文字フォントデータテーブル3 5にあるかどうかをチェックする(図4ステップS 2)。

【0026】この文字フォントデータテーブル3 5は個々の文字フォントのコードとその文字フォントが格納されているロケーション情報とが記録されているものであり、このロケーション情報とはコンピュータシステム3自身が持つ文字フォントデータ3 6に格納されているのか、もしくはネットワークに接続する文字フォント管理サーバ2に格納されているのかを示す情報である。

【0027】文字フォントデータテーブル3 5に該当する文字が見つからなかった場合(図4ステップS 3)、文字フォントのロケーションの検索を実行する(図4ステップS 4)。これは文字フォント通信コントロール手段3 1の通信機能を用いてネットワークに接続している文字フォント管理サーバ2に接続し、目的の文字フォントデータをサーチするものである。

【0028】文字フォントデータキャッsingプログラム3 4は該当する文字フォントデータを文字フォント管理サーバ2からダウンロードし(図4ステップS 5)、そのダウンロードした文字フォントデータを文字フォントデータ3 6に書き込み(図4ステップS 6)、文字フォントデータテーブル3 5の文字フォント情報に検索した文字フォントのコードとロケーション情報を追加し、文字フォントデータテーブル3 5を更新する(図4ステップS 7)。

【0029】これによって、新規の文字フォントデータを得ることができる。文字フォントデータキャッsingプログラム3 4はその文字フォントデータを文字フォント出力コントロール手段3 3にデータ送信し(図4ステップS 9)、モニタ6やプリンタ5、もしくは元のアプリケーションソフトウェア3 7に文字出力制御を送る(図4ステップS 10)。

【0030】これとは別に、アプリケーションソフトウェア3 7からの文字フォントが、既に文字フォントデータテーブル3 5に該当し、なおかつ、それが文字フォントデータ3 6のロケーション情報に存在する場合(図4ステップS 3)、文字フォントデータ3 6から目的の文字フォントを読み出し(図4ステップS 8)、その文字フォントを文字フォント出力コントロール手段3 3にデータ送信し(図4ステップS 9)、上記の場合と同様に、モニタ6やプリンタ5、もしくはアプリケーションソフトウェア3 7に文字出力制御を送る(図4ステップS 10)。

【0031】このように、コンピュータシステム3に未登録の文字フォントを利用する時でも、文字フォント管理サーバ2の文字フォントを共通に利用することができるため、その都度、コンピュータシステム3で個別に文字フォントをインストールしたり、外字フォントを作成する作業が不要となる。

【0032】また、ネットワーク経由で文字フォント管理サーバ2から文字フォントをダウンロードして自らのコンピュータシステム3にセットアップしているので、ネットワークに接続して文字フォント管理サーバ2にアクセスすることができる環境が整つていれば、どこにいても新規文字フォントを利用することができる。

【0033】さらに、利用時に文字フォントを最初から自らのコンピュータシステム3に保有しておく必要がなく、文字フォントを利用する時に文字フォント管理サーバ2からダウンロードして登録すればよいため、それらを格納するために必要なメモリやハードディスクドライブ等のコンピュータシステム3で必要なハードウェア資源を軽減することができる。

【0034】図5は本発明の他の実施例による文字フォント登録システムの構成を示すブロック図である。図5において、本発明の他の実施例による文字フォント登録システムは文字フォント通信コントロール手段3 1から複数の文字フォント管理サーバ2 a、2 bへアクセス可

能とし、文字フォントデータテーブル 8 a、8 b を文字フォント管理サーバ 2 a、2 b 間に置くようにした以外は図 3 に示す本発明の一実施例による文字フォント登録システムと同様の構成となっており、同一構成要素には同一符号を付してある。また、同一構成要素の動作は本発明の一実施例と同様である。

【0035】つまり、本発明の他の実施例による文字フォント登録システムはコンピュータシステム 7 と文字フォント管理サーバ 2 a、2 b から構成され、コンピュータシステム 7 にはデータ入力装置 4 と、プリンタ 5 と、モニタ 6 とが接続され、文字フォント管理サーバ 2 a、2 b にはそれぞれ文字フォントデータテーブル 8 a、8 b が接続されている。これら文字フォントデータテーブル 8 a、8 b には文字フォントが分散して格納されている。

【0036】また、コンピュータシステム 7 は文字フォント通信コントロール手段 3 1 と、文字フォント入力コントロール手段 3 2 と、文字フォント出力コントロール手段 3 3 と、文字フォントデータキャッシュングプログラム 7 1 と、アプリケーションソフトウェア 3 7 とから構成され、文字フォントデータキャッシュングプログラム 7 1 は文字フォントキャッシュデータ 7 2 を備えている。

【0037】アプリケーションソフトウェア 3 7 からは文字入力が行われる際に、どういう文字フォントを選択して使用するかが文字フォントデータキャッシュングプログラム 7 1 に対して要求される。文字フォントデータキャッシュングプログラム 7 1 は文字フォント通信コントロール手段 3 1 を経由して文字フォント管理サーバ 2 a、2 b で元管理されている文字フォントデータテーブル 8 a、8 b を参照し、要求された文字フォントが文字フォントデータ管理サーバ 2 a、2 b に存在するかどうかをサーチする。

【0038】文字フォントデータキャッシュングプログラム 7 1 は目的の文字フォントが文字フォント管理サーバ 2 a、2 b の文字フォントデータテーブル 8 a、8 b にあれば、その文字フォントを文字フォントデータテーブル 8 a、8 b からダウンロードし、文字フォントキャッシュデータ 7 2 にその文字フォントデータを書込んで保存する。

【0039】これによって、文字フォントデータキャッシュングプログラム 7 1 はダウンロードした文字フォントデータを、上位のアプリケーションソフトウェア 3 7 自身への出力、もしくは画面出力用のモニタ 6 への表示やプリンタ 5 への出力を行うために文字フォント出力コントロール手段 3 3 にデータ送信する。

【0040】図 6 は本発明の他の実施例による文字フォント登録システムの動作を示すフローチャートである。これら図 5 及び図 6 を参照して本発明の他の実施例の全体動作について説明する。

【0041】アプリケーションソフトウェア 3 7 から文 50

字入力が行われると(図 6 ステップ S 1 1)、文字フォントデータキャッシュングプログラム 7 1 は入力要求のあった文字フォントが文字フォントキャッシュデータ 7 2 にあるかどうかをチェックする(図 6 ステップ S 1 2)。

【0042】文字フォントデータキャッシュングプログラム 7 1 は文字フォントキャッシュデータ 7 2 に該当する文字が見つからなかった場合、文字フォント管理サーバ 2 a の文字フォントデータテーブル 8 a に目的の文字フォントがあるかどうかの検索を行う(図 6 ステップ S 1 3)。

【0043】文字フォントデータキャッシュングプログラム 7 1 は文字フォント通信サーバ 2 a の文字フォントデータテーブル 8 a に目的の文字フォントが見つからなかった場合(図 6 ステップ S 1 4)、他の文字フォント管理サーバ 2 b の文字フォントデータテーブル 8 b に目的の文字フォントがあるかどうかの検索を行う(図 6 ステップ S 1 5)。

【0044】文字フォントデータキャッシュングプログラム 7 1 は文字フォント管理サーバ 2 b の文字フォントデータテーブル 8 b に目的の文字フォントが見つかると(図 6 ステップ S 1 4)、目的の文字フォントデータを該当する文字フォントデータ管理サーバ 2 b からダウンロードし(図 6 ステップ S 1 5)、そのダウンロードした文字フォントを文字フォントキャッシュデータ 7 2 に書込んで保存する(図 6 ステップ S 1 6)。

【0045】これによって、目的の文字フォントデータを得ることができるために、文字フォントデータキャッシュングプログラム 7 1 は目的の文字フォントデータを文字フォント出力コントロール手段 3 3 にデータ送信し(図 6 ステップ S 1 8)、モニタ 6 やプリンタ 5、もしくはアプリケーションソフトウェア 3 7 自身に文字出力制御を送る(図 6 ステップ S 1 9)。

【0046】これとは別に、目的の文字フォントが文字フォントキャッシュデータ 7 2 に既に存在する場合、文字フォントデータキャッシュングプログラム 7 1 はその目的の文字フォントを読み出し(図 6 ステップ S 1 7)、その文字フォントを文字フォント出力コントロール手段 3 3 にデータ送信し(図 6 ステップ S 1 8)、上記の場合と同様に、モニタ 6 やプリンタ 5、もしくはアプリケーションソフトウェア 3 7 に文字出力制御を送る(図 6 ステップ S 1 9)。

【0047】図 7 は本発明の他の実施例による文字フォント登録システムの構成を示すブロック図である。図 7において、本発明の他の実施例による文字フォント登録システムは文字フォント管理サーバ 2 a と他の文字フォント管理サーバ 2 b との間で文字フォントの検索を要求する文字フォント通信接続 100 を行うようにした以外は図 5 に示す本発明の他の実施例による文字フォント登録システムと同様の構成となっており、同一構成要

素には同一符号を付してある。また、同一構成要素の動作は本発明他の実施例と同様である。

【0048】すなわち、本発明の別の実施例による文字フォント登録システムはコンピュータシステム7と文字フォント管理サーバ2 a、2 bとから構成され、コンピュータシステム7にはデータ入力装置4と、プリンタ5と、モニタ6とが接続され、又はフォント管理サーバ2 a、2 bにはそれぞれ文字フォントデータテーブル8 a、8 bが接続されている。

【0049】また、コンピュータシステム7は文字フォント通信コントロール手段3 1と、文字フォント入力カントロール手段3 2と、文字フォント出力カントロール手段3 3と、文字フォントデータキャッシュングプログラム7 1と、アプリケーションソフトウェア3 7とから構成され、文字フォントデータキャッシュングプログラム7 1は文字フォントキャッシュデータ7 2を構成している。

【0050】アプリケーションソフトウェア3 7からは文字入力が行われる際に、どういう文字フォントを選択して使用するのかが文字フォントデータキャッシュングプログラム7 1に対して要求される。文字フォントデータキャッシュングプログラム7 1は文字フォント通信コントロール手段3 1を経由して文字フォント登録サーバ2 aに目的の文字フォントがあるかどうかのチェックを依頼する。

【0051】ここで、文字フォント管理サーバ2 aは文字フォントデータテーブル8 aを参照し、要求された文字フォントが存在するかどうかを確認する。文字フォント管理サーバ2 aは文字フォントが存在すれば文字フォントデータテーブル8 aに文字フォントを登録する。存在しなれば他の文字フォント管理サーバ2 bに自動的に文字フォントチェック通信100を用いて検索の依頼を行う。

【0052】文字フォントデータ管理サーバ2 bは依頼された文字フォントが文字フォントデータテーブル8 bに存在すればコンピュータシステム7に文字フォントを渡す。このようにして、文字フォントデータキャッシュングプログラム7 1は目的の文字フォントを文字フォント管理サーバ2 bの文字フォントデータテーブル8 bからダウンロードし、文字フォントキャッシュデータ7 2にその文字フォントデータを書き込んで保存する。

【0053】これによって、文字フォントデータキャッシュングプログラム7 1は上位のアプリケーションソフトウェア3 7自身への出力、もしくは画面出力用のモニタ6への表示やプリンタ5への出力を、ダウンロードした文字フォントデータを用いて実行するために、文字フォント出力カントロール手段3 3にデータ送信する。

## 【0054】

【発明の効果】以上説明したように本発明によれば、少なくともモニタやプリンタにて使用する文字フォントを自システム内に蓄積する文字フォント登録システムにおいて、文字フォントが自システム内にない時に当該文字フォントが登録されている文字フォント管理サーバから当該文字フォントをネットワーク経由でダウンロードすることによって、手作業でのインストール作業を発生させることなく、自システム内に予めインストール済みの文字フォント以外の文字フォントを使用することができ、文字フォントを格納するための資源を絶減することができるという効果がある。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の概念を説明するための図である。

【図2】本発明の概念を説明するための図である。

【図3】本発明の実施例による文字フォント登録システムの構成を示すブロック図である。

【図4】本発明の実施例による文字フォント登録システムの動作を示すフローチャートである。

【図5】本発明の他の実施例による文字フォント登録システムの構成を示すブロック図である。

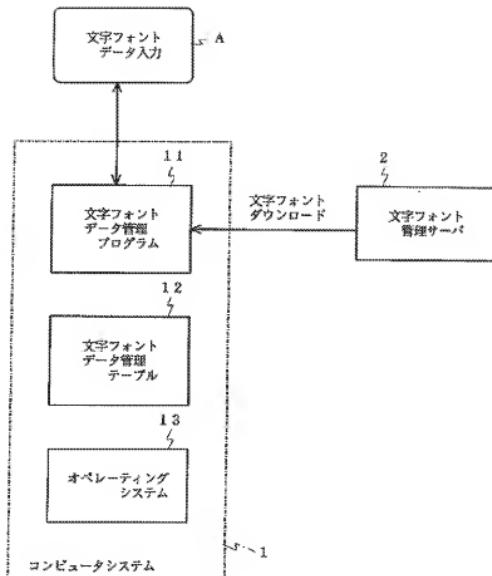
【図6】本発明の他の実施例による文字フォント登録システムの動作を示すフローチャートである。

【図7】本発明の別の実施例による文字フォント登録システムの構成を示すブロック図である。

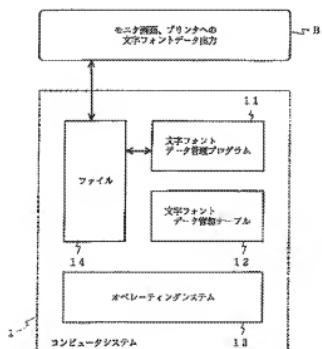
## 【符号の説明】

- 1、3、7 コンピュータシステム
- 2 a、2 b 文字フォント管理サーバ
- 4 データ入力装置
- 5 プリンタ
- 6 モニタ
- 8 a、8 b、3 5 文字フォントデータテーブル
- 1 1 文字フォントデータ管理プログラム
- 1 2 文字フォントデータ管理テーブル
- 1 3 オペレーティングシステム
- 1 4 ファイル
- 3 1 文字フォント通信コントロール手段
- 3 2 文字フォント入力カントロール手段
- 3 3 文字フォント出力カントロール手段
- 3 4、7 1 文字フォントデータキャッシュングプログラム
- 3 6 文字フォントデータ
- 3 7 アプリケーションソフトウェア
- 7 2 文字フォントキャッシュデータ
- 1 0 0 文字フォントチェック通信

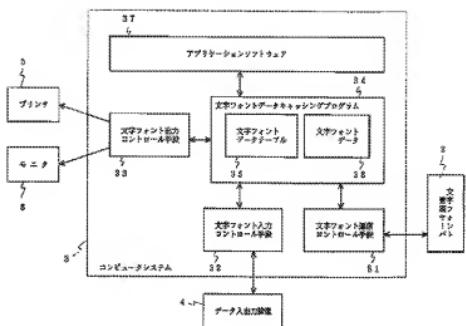
【図1】



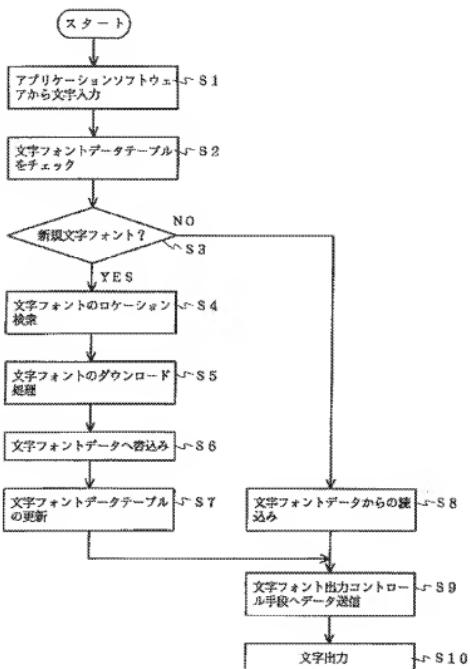
【図2】



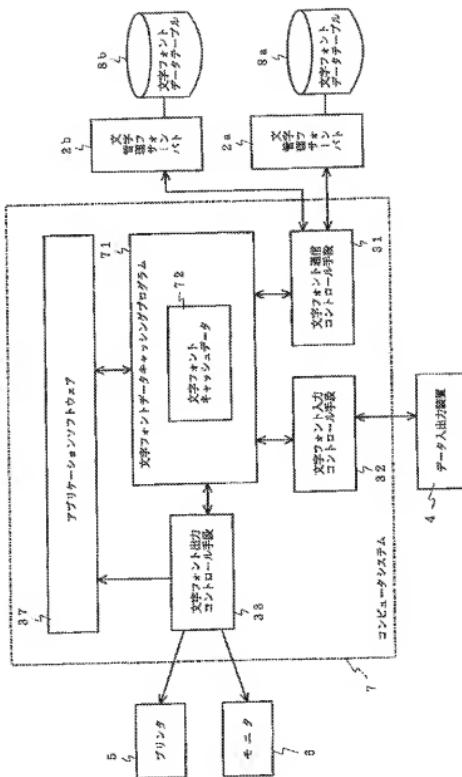
【図3】



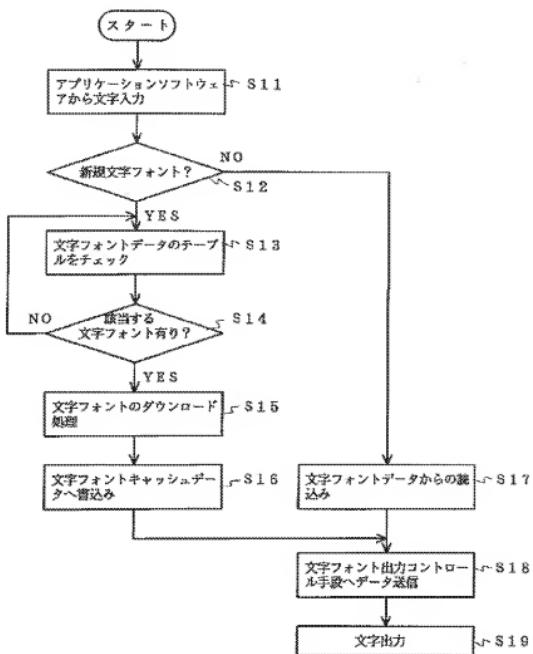
【図4】



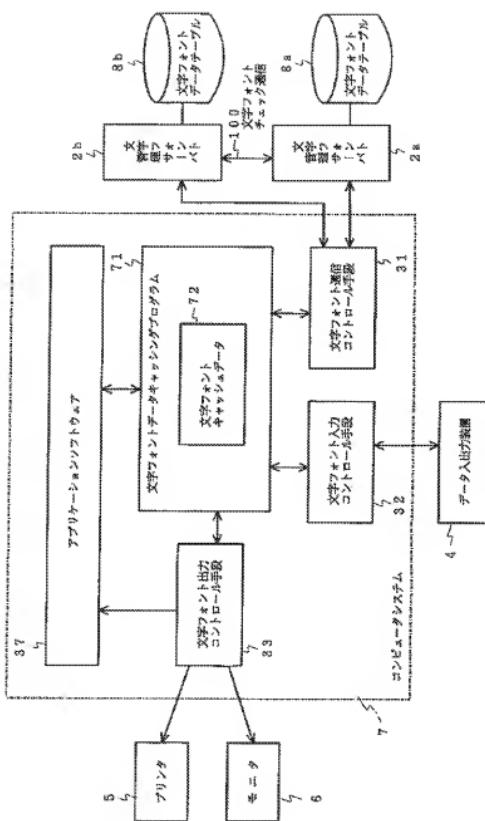
[圖5]



【図6】



【図7】



フロントページの統き

(51) Int. Cl. 7

G 06 F 17/21

識別記号

5 9 6

F 1

G 06 F 17/21

チ-ヨード (参考)

5 9 6 Z